

名前：

科学の進歩によ。て。われわれの生活はますます便利にな。てきた。その中でも、最も代表的なのはインターネットだと言える。インターネットでニュースを見たり必要なじ。うほうをけんせくしたりするこ。うけいはどこでもよく見つけられるようにな。た。私はインターネットがある以上、もう新聞や雑誌は要らないと思。ている。

私がそう思。ているのには二つの理由があ。てまず一つ目は新聞や雑誌はインターネットと比べ、しんそくにじ。うほうをていさうでをないからだ。今の世界は目に見えないほどはやく変化している。だからげんたい人にはでをるだけはやくい。うほうをえ。るのうりょくが。うさ。れる。インターネットがなが、た時には新聞が一番はやか。たじ。うほうし。たんだ。たが、今はインターネットがそのやくわりをも。とはやリスポートでかんべをにしている。だから新聞や雑誌はもう要らないのだ。

二つ目の理由はインターネットでさがせるニュースやい。うほうのり。うが。げんたいということだ。新聞や雑誌にはさがし。うほうをのるく。うかんがが。られ。ているがインターネットはさがされ。ていない。

もちろにい。うほうの中でま。が。ているのもあるがそれをく。げんたいで。れはインターネットの。うにべんり。た。く。せん。の。じ。うほうがえ。れるものはないのだ。またインターネットには新聞や雑誌ではあ。つかいにくい。うほうもえ。れる。

このようにインターネットは新聞や雑誌よりはや。く。うほうがえ。れるし、そのり。うも。げんたい。まだ新聞や雑誌な。を。読んでいる人も。多いが、私はその人たちがインターネットをり。うし。ない。と。げんたい。の。なが。れに。お。い。つけ。られ。ない。と思。う。インターネットは新聞や雑誌の。を。う。か。ん。べ。を。に。や。て。いる。同時に。も。と。い。い。点。を。い。う。い。う。も。て。いる。だからもう新聞や雑誌は要らない。

1800字